

第2 試験検査

1 生活衛生に関する試験検査〔生活衛生部門、微生物部門〕

令和4年度の生活衛生に関する試験検査の実施状況は、表2-1-1～表2-1-5のとおりである。

表2-1-1 年間取扱件数

		総数		令和4年												令和5年		
		検体数	項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
水 質 検 査	専用水道水	0	0															
	簡易専用水道水	0	0															
	小規模貯水槽水道水	28	336			28												
	飲用井戸水	7	70		1	2		3				1						
	小計	35	406	0	1	30	0	3	0	0	0	1	0	0	0			
	プール水	10	60			10												
	浴槽水	38	38		11	6	8			4		5						4
	小計	48	98	0	11	6	18	0	0	4	0	5	0	0	4			
検 査 品 家 庭 用	繊維製品	421	534		70		5	3		73	70		75	75	50			
	家庭用化学製品	14	36					7	5	2								
	小計	435	570	0	70	0	5	10	5	75	70	0	75	75	50			
の そ の 他	貸おしぼり	7	35						3	4								
	小計	7	35	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0			
計		525	1,109	0	82	36	23	13	8	83	70	6	75	75	54			

表2-1-2 水質検査基準不適合検体の内容

検体の種類	検体数	不適合項目
浴槽水	3	レジオネラ属菌
小規模受水槽水道水	2	鉄及びその化合物、色度、有機物(TOC)
飲用井戸水	3	大腸菌、色度、濁度、pH値、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素

表2-1-3 試験検査対象家庭用品の種類とその検査項目

		検 体 数	検 査 項 目 数	ホルムアルデヒド①	ホルムアルデヒド②	HCl	H ₂ SO ₄	NaOH	KOH	容器試験	有機水銀化合物	塩化ビニル	TPT	TBT	TDBPP	BDBPP	MeOH	C ₂ Cl ₄	C ₂ HCl ₃	ジメチル[α,β]ブテン	ベンゾ[a]ピレン	ベンゾ[a]アントラセン	フェニルトリン	アノ化合物	
繊維製品	おしめ	7	7	7																					
	おしめカバー	12	13	11									1	1											
	よだれ掛け	21	21	21																					
	下着	35	57	24	8						1		1	1										22	
	寝衣	56	56	39	17																				
	手袋	8	8	6	2																				
	くつ下	20	21	12	5						2		1	1											
	中衣	72	72	72																					
	外衣	112	133	111																				22	
	帽子	27	48	26																				22	
	寝具	39	39	39																					
	たび		0																						
	カーテン	2	4													2	2								
	床敷物	3	6													3	3								
	テーブル掛け		0																						
	えり飾り		0																						
	ハンカチーフ		0																						
	タオル	2	44																					44	
	バスマット		0																						
	衛生パンツ		0																						
	家庭用毛糸	5	5																					5	
	小計		421	534	368	32	0	0	0	0	0	3	0	3	3	5	5	0	0	0	0	0	0	0	5
家庭用化学製品	くつ下止め用等接着剤		0																						
	家庭用接着剤	3	4								2		1	1											
	家庭用エアゾル製品	5	20									5					5	5	5						
	靴墨・靴クリーム	1	2										1	1											
	家庭用塗料		0																						
	家庭用ワックス		0																						
	住宅用洗浄剤		0																						
	家庭用洗浄剤	5	10					5	5																
	家庭用木材防腐剤 及び木材防虫剤		0																						
	家庭用防腐木材 及び防虫木材		0																						
	小計		14	36	0	0	0	5	5	5	2	5	2	2	0	0	5	5	5	5	0	0	0	0	0
	計		435	570	368	32	0	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0	0	0	5	110

①生後24ヶ月以内用のもの

②生後24ヶ月以内用を除く

表2-1-4 家庭用品違反品の概要

試買・収去年月	家庭用品区分	検査項目	検出値	基準
違反なし				

表2-1-5 その他の検査の不適合内容

検体の種類	検体数	不適合項目
違反なし		

2 食品衛生及び栄養に関する試験検査〔生活衛生部門、微生物部門〕

令和4年度の食品衛生及び栄養に関する試験検査の実施状況は、表2-2-1～表2-2-28のとおりである。

表2-2-1 年間取扱件数（ウイルス検査を除く）

	総数		令和4年												令和5年		
	検体数	項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
食中毒等の細菌検査	346	7,261	38	81		1	1	48		47	69	35	23	3			
収去食品の細菌検査	270	944	10	31	35	14		10	32	42	20	17	24	35			
食品の規格検査	115	239	6		30	4	4			6	20	7	24	14			
食品の衛生規範に係る検査																	
遺伝子組換え食品の検査	10	30										10					
食品中の食品添加物検査	257	1,440		40	20	20		6	30	40	52	10	35	4			
食品中の残留農薬検査	133	26,502		16		5	16	16	7	16	15	16		26			
PCB、水銀等の食品汚染物質検査	59	114		14		17					15			13			
食品中の残留動物用医薬品検査	159	4,656	6	10	47	2	26		40		6	4	12	6			
食品の放射能汚染検査	79	91		12	7	6	6	8		9	8	9	9	5			
自然毒検査	13	18	3		5						5						
器具及び容器包装の検査	27	45												27			
食品中の特定原材料の検査	189	189	30	30			8		30	30	30			31			
食品衛生に関するその他の検査	0	0															
食品衛生外部精度管理	18	32			3	2	1	3	5	3	1						
計	1,675	41,561	93	234	147	71	62	91	144	193	241	108	127	164			

*検体数及び項目数は、複数の検査分類で再掲しているため、計は実際の数と異なる。

表2-2-2 食中毒などの取扱件数及び検体数（微生物学的検査）

	計	令和4年												令和5年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
取扱件数	21 (3)	2 (1)	1		1	1	1		2 (1)	2 (1)	4	4	3			
検体数	398 (118)	38 (25)	81		1	1	48 (48)		47 (45)	74	70	34	4			

注）（ ）内は本市で食中毒事件と断定した事例

表2-2-3 食中毒などの検体数及び項目数（微生物学的検査）

	計		食中毒*		その他	
取扱件数	21		3		18	
検体数及び項目数	398	7,441	118	2,516	280	4,925
患者便	91	1,487	11	248	80	1,239
業者便	84	1,428	19	418	65	1,010
業者手指ふきとり	35	735	13	273	22	462
施設器具ふきとり	123	2,583	63	1,323	60	1,260
食品	64	1,207	12	254	52	953
吐物						
飲用水						
菌株						
その他	1	1			1	1

*本市で食中毒事件と断定した事例

表2-2-4 食中毒などのウイルス及び核酸検査の検体数

検査項目	ウイルス検査			核酸検査		
	計	食中毒*	その他	計	食中毒*	その他
取扱件数	20	3	17	21	3	18
検体数	183	31	152	201	43	158
患者便	89	11	78	91	11	80
業者便	84	19	65	84	19	65
業者手指ふきとり				1	1	
施設器具ふきとり				6	6	
食品	9	1	8	18	6	12
吐物						
飲用水						
菌株						
その他	1		1	1		1

*本市で食中毒事件と断定した事例

表2-2-5 食中毒* 病因物質発生状況(微生物学的検査)

病因物質	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サルモネラ属菌	1	2				
カンピロバクター	1	5	5	3	1	
黄色ブドウ球菌		2	1			
セレウス菌						
病原大腸菌						
ウェルシュ菌		1			1	
腸炎ビブリオ						
ノロウイルス	5	5	3	1	1	1
サボウイルス						
グダ・セブテンブクタータ	2					2
不明						
その他		1**				
計	9	16	9	4	3	3

*本市で食中毒事件と断定した事例

**A型肝炎ウイルス

表2-2-6 食中毒(理化学)関連及び食品苦情等に関わる検査

発生月	対象食品	概要	検体数	検査項目
4月	ニラのしょうゆ漬け	検査(ニラのしょうゆ漬け)1検体、植物の球根2検体	3	リコリン

表2-2-7 収去食品の細菌数などの検査結果

検体の種類	検体数	細菌数			大腸菌群陽性	E.coli陽性	大腸菌陽性	腸内細菌科菌群陽性	乳酸菌数基準未満	黄色ブドウ球菌数			E.coli最確数			腸炎ビブリオ最確数		
		3,000/g以下	3,001/g～10 ⁵ /g以下	10 ⁵ /gを超える						50/g未満	50/g～100/g以下	100/gを超える	18/100g未満	18/100g～230/100g以下	230/100gを超える	3.0/g未満	3.0/g～100/g以下	100/gを超える
牛乳	6	6	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚肉ねり製品	20	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ゆでがに	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	0
発酵乳・乳酸菌飲料	4	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類	4	3	1	0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
食肉製品																		
非加熱食肉製品	10	-	-	-	-	0	-	-	-	10	0	0	-	-	-	-	-	-
生食用かき	11	11	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	0	11	0	0
生食用食肉	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生食用鮮魚介類	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	0	0
清涼飲料水	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品																		
無加熱摂取冷凍食品	8	8	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加熱後摂取冷凍食品 (凍結直前加熱)	4	4	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加熱後摂取冷凍食品 (凍結直前未加熱)	18	14	4	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表2-2-8 収去食品の食中毒菌などの検出件数

項目 検体の種類	検体数	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	腸炎ビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ミクス	エロモナス・ソブリア	エロモナス・ヒドロフィラ	病原大腸菌	カンピロバクター・ジェニ	カンピロバクター・コリ	セレウス菌	ウェルシュ菌	リストeria・モノサイトゲネス	ノロウイルス
和生菓子	41	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
洋生菓子	10	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
残置食*	50	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-
生食用鮮魚介類	10	-	-	0	0	0	2	0	-	-	-	-	-	-	-
浅漬	15	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0*	-
路上弁当	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌実態調査**															
肉卵類及びその加工品	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野菜類・果実及びその加工品	2	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
菓子類	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鶏肉	47	-	27	-	-	-	-	-	-	29	1	-	-	-	-
そう菜	10	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-
ナチュラルチーズ	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-
食肉製品	10	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-
生食用かき	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
豆腐	10	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*検査対象は5検体

**腸管出血性大腸菌(6血清群)のみ

表2-2-9 遺伝子組換え食品の検査結果

	検体数	安全性未審査遺伝子組換え食品の混入		
		項目数	検出数	基準値
トウモロコシ				
トウモロコシ缶詰	3	3	0	検出しない
とうもろこし	2	2	0	検出しない
米				
米粉	3	3	0	検出しない
ライスペーパー	1	1	0	検出しない
フォー	1	1	0	検出しない
合計	10	10	0	

安全性未審査遺伝子組換え食品混入の有無の検査項目

安全性未審査遺伝子組換えトウモロコシ(CBH351)

安全性未審査遺伝子組換えトウモロコシ(DAS59132)

安全性未審査遺伝子組換えトウモロコシ(Bt10)

安全性未審査遺伝子組換え米(63Btコメ)

安全性未審査遺伝子組換え米(NNBtコメ)

安全性未審査遺伝子組換え米(CpTIコメ)

表2-2-10 食品中の甘味料の検査結果

	検体数	サッカリンナトリウム		
		検出数	使用基準 違反数	表示 違反数
そうざい及び半製品	53	0	0	0
輸入食品	40	0	0	0
漬物	29	2	0	1
魚肉ねり製品	20	0	0	0
計	142	2	(検出率 1.4 %)	

表2-2-11 食品中の保存料の検査結果

	検体数	ソルビン酸			安息香酸*			デヒドロ酢酸 ナトリウム		
		検出数	使用基準 違反数	表示 違反数	検出数	使用基準 違反数	表示 違反数	検出数	使用基準 違反数	表示 違反数
そうざい及び半製品	53	10	0	0	3	0	0	0	0	0
輸入食品(ワイン除く)	40	1	0	0	0	0	0	0	0	0
魚肉ねり製品	20	5	0	0	0	0	0	0	0	0
菓子	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食肉製品	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0
漬物	29	11	0	1	0	0	0	0	0	0
輸入ワイン	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
発酵乳・乳酸菌飲料	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0
計	186	31	(検出率16.7%)		5	(検出率 2.7%)		0	(検出率 0.0%)	

*安息香酸は、発酵乳等多くの食品に天然に含有されている(食品衛生検査指針食品添加物編追補2020)

表2-2-12 食品中の着色料の検査結果

	検体数	着色料			
		検出検体数	検査項目数	検出項目数	表示違反数
漬物	30	9	360	14	0
いくら、たらこ	10	5	120	13	0
菓子	10	0	120	0	0
計	50	14	600	27	0

(検出率 28.0 %)

(検出率 4.5 %)

表2-2-13 食品中の指定外酸化防止剤
(ターシャリーブチルヒドロキノン (TBHQ)) の検査結果

	検体数	TBHQ	
		検出数	使用基準 違反数
輸入食品	20	0	0

(検出率 0.0 %)

表2-2-14 食品中の漂白剤の検査結果

	検体数	検出数	亜硫酸 使用基準 違反数	表示 違反数
果実酒	10	10	0	0
エビ(冷凍)	10	1	0	0
ドライフルーツ	4	0	0	0
かんぴょう	3	3	0	0
その他の食品	12	0	0	0
計	39	14	(検出率 35.9 %)	

表2-2-15 食品中の殺菌料の検査結果

	検体数	検出数	過酸化水素 使用基準 違反数	表示 違反数
ちりめん、しらす	6	1	0	0
かずのこ	2	0	0	0
計	8	1	(検出率 12.5 %)	

注:天然由来の過酸化水素報告例:しらす干し ND~0.0045(食品衛生研究Vol47、No7、1997)

表2-2-16 食品中の発色剤の検査結果

	検体数	検出数	発色剤 使用基準 違反数	表示 違反数
食肉製品	15	14	0	0
いくら、たらこ	10	5	0	0
計	25	19	(検出率 76.0 %)	

表2-2-17 輸入果実中の防ばい剤の検査結果

	検体数	検出検体数	検査項目数	検出項目数	基準超過数
かんきつ類	5	5	40	16	0
バナナ	1	0	8	0	0
計	6	5	48	16	0

検査項目: アゾキシストロビン、イマザリル、オルトフェニルフェノール、ジフェニル、チアベンダゾール、ピリメタニル、フルジオキシニル、プロピコナゾール

表2-2-18 食品中の残留農薬検査結果

食品の種類	産地	検体数	検出検体数	検査項目数	検出項目数	違反数
魚介類	外国水域	0				
	日本近海	15	0	1,620	0	0
穀類およびその加工品	国内	5	5	1,370	12	0
果実	外国	21	11	4,504	34	0
	国内	21	19	4,452	76	0
野菜	外国	6	5	1,291	19	0
	国内	48	35	10,336	60	1
茶葉	外国	0				
	国内	7	7	1,169	49	0
冷凍食品	外国	10	4	1,760	8	1
計		133	86	26,502	258	2

表2-2-19 水産物中のPCB、水銀検査結果

	検体数	PCB*			総水銀			メチル水銀*2		
		検出数	暫定的 規制 違反数	基準 値 (ppm)	検出数	暫定的 規制 違反数	基準 値 (ppm)	検出数	暫定的 規制 違反数	基準 値 (ppm)
いか類	5	0		3	5	0	0.4			0.3
海産魚(遠洋)	15	4	0	0.5	14	1	0.4	1	1	0.3
海産魚(その他)	34	15	0	3	33	0	0.4			0.3
水銀適用除外海産魚*2	0			-			-			-
計	54	19	検出率	35.2%	52	検出率	96.3%	1	検出率	1.9%

* PCBは遠洋沖合魚介類は0.5ppm、それ以外の魚介類は3ppmと暫定的規制値が定められている。

*2 水銀は総水銀0.4ppmかつメチル水銀0.3ppmと暫定的規制値が定められているが、マグロ類、河川産の魚介類、深海性魚介類等は適用を除外されている。また、メチル水銀の検査は総水銀が暫定的規制を超えた時のみ実施する。

表2-2-20 畜水産食品中の残留抗生物質、合成抗菌剤、内寄生虫用剤の検査結果

		検体数	検出検体数	検査項目数	検出項目数	基準違反数
牛	筋肉	23	0	867	0	0
	腎臓	23	0	874	0	0
	輸入牛肉	4	0	148	0	0
豚	筋肉	23	0	476	0	0
	腎臓	23	0	680	0	0
	輸入豚肉	4	0	100	0	0
鶏	筋肉	11	0	440	0	0
	肝臓	10	0	340	0	0
	輸入鶏肉	4	0	140	0	0
鶏卵		4	0	136	0	0
乳		6	0	102	0	0
養殖魚介類	魚介類(すずき目)	10	0	165	0	0
	魚介類(ふぐ目)	1	0	30	0	0
	魚介類(その他の魚類)	1	0	34	0	0
輸入冷凍えび	魚介類(甲殻類)	10	0	120	0	0
輸入うなぎ蒲焼		2	0	4	0	0
計		159	0	4,656	0	0

(補足) 上記以外に、食肉検査部門の依頼に基づき、疑抗生物質残留検体(牛筋肉)1検体について、38項目の検査を実施した。

マルボフロキサシンが0.60ppm検出したが、当該品は食品として流通していない。

表2-2-21 食品中の放射能検査結果

食品大分類	検体数	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	基準 超過数	基準(ベクレル/kg) (合計値)
		検出数	検出数		
魚介類及び魚介類加工品	17	0	0	0	100
牛乳*	3	0	0	0	50
穀類及びその加工品	5	0	0	0	100
野菜類・果実類及びその加工品	49	0	2	0	100
清涼飲料水(うち乳児用食品)	3 (3)	0	0	0	一般100, 飲料水10(50)
その他の食品(うち乳幼児用食品)	2 (2)	0	0	0	100(50)
計	79	0	2	0	

* 乳及び乳製品の成分規格等に関する省令(昭和26年厚生省令第52号)の乳(牛乳、低脂肪乳、加工乳など)及び乳飲料

表2-2-22 食品中の特定原材料の検査

	検体数	項目数	卵		乳		小麦		落花生		えび・かに		そば	
			検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数
そう菜	93	93	33	1							30		30	
菓子	32	32	2						30					
輸入食品	30	30			30									
乳幼児用食品	32	32	2				30							
その他	2	2	2											
計	189	189	39	1	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0

表2-2-23 食品中の重金属の検査結果

		検体数	検出数	基準超過数	基準値(ppm)
米	カドミウム	5	0	0	0.4

表2-2-24 乳等の成分規格（理化学検査）の検査結果

	検体数	成分規格	
		検査項目数	基準違反数
牛乳	6	24	0
発酵乳等	4	4	0
計	10	28	0

表2-2-25 二枚貝の貝毒の検査結果

	検体数	麻痺性貝毒		下痢性貝毒	
		検出数	基準違反数	検出数	基準違反数
二枚貝	5	0	0	0	0
		(検出率 0.0 %)		(検出率 0.0 %)	

表2-2-26 ふぐ加工品のふぐ毒の検査結果

	検体数	ふぐ毒	
		検出数	基準違反数
ふぐ加工品	5	0	0
		(検出率 0.0 %)	

表2-2-27 器具・容器包装の検査結果

	検体数	規格	
		検査項目数	基準違反数
レースペーパー等	21	21	0
土鍋、茶碗	4	8	0
ポリプロピレン樹脂製器具	2	16	0
計	27	45	0

3 医薬品などに関する試験検査〔生活衛生部門〕

令和4年度の医薬品などに関する試験検査の実施状況は、表2-3-1～表2-3-2のとおりである。

表2-3-1 年間取扱件数

	総数		令和4年												令和5年		
	取扱検体数	検査項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
医薬品	7	7								6	1						
計	7	7	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0			

表2-3-2 収去医薬品の試験検査結果

検査項目	医薬品の種類	検体数	検査結果
イブプロフェン	解熱鎮痛薬	1	製造承認書による含量規格を満たしていた
ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	鼻炎用点鼻薬	2	製造承認書による含量規格を満たしていた
テルピナフィン塩酸塩	みずむし・たむし用薬	3	製造承認書による含量規格を満たしていた
ベタメタゾン吉草酸エステル	その他の外皮用薬	1	製造承認書による含量規格を満たしていた
合計		7	

4 微生物及び免疫に関する試験検査〔微生物部門〕

令和4年度の微生物及び免疫に関する試験検査の実施状況は、表2-4-1から表2-4-6のとおりである。

表2-4-1 年間取扱件数

項目	細分	総数		令和4年										令和5年				
		検体数	項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
感染症発生動向調査	ウイルス検査	54	513	4	10	11	8	4	0	3	2	4	1	1	6			
	細菌検査	24	24	1	6	1	3	3		2			1	1	6			
HIV抗体検査	血清試験	559	564	28	49	34	26	65	56	73	92	79	57					
梅毒抗体検査	血清試験	1,500	1,555	108	127	130	129	152	158	179	190	174	153					
三類感染症病原体検査	細菌検査	128	131	5	3	16	16	18	4	12	16	6	1	1	30			
一般依頼ウイルス検査	ウイルス検査	3	3				2	1										
一般依頼細菌検査	細菌検査	1	1			1												
行政依頼ウイルス検査	ウイルス検査	16,435	16,791	1,529	1,710	965	2,760	3,448	1,062	575	930	1,324	1,339	573	220			
行政依頼細菌検査	細菌検査	18	22	1	1	6	1	3	2		1		3					
結核遺伝子検査(VNTR)	細菌検査	87	87	6	8	5	10	3	9	13	10	4	7	7	5			
計		18,809	19,691	1,682	1,914	1,169	2,955	3,697	1,291	857	1,241	1,591	1,562	583	267			

表2-4-2 京都市感染症発生動向調査事業 病原体検査取扱件数

		計	令和4年								令和5年				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
受付患者総数		52	4	9	10	8	4		3	2	4	1	1	6	
ウイルス検査被検患者数		41	4	7	9		4		3	2	4	1	1	6	
ウイルス検査	糞便	27	1	4	4	3	3		3	1		1	1	6	
	咽頭ぬぐい液	22	3	4	5	5				1	4				
	髄液	4		2	2										
	尿	0													
	その他	1					1								
	小計	54	4	10	11	8	4	0	3	2	4	1	1	6	
細菌検査被検患者数		23	1	5	1	3	3		2			1	1	6	
細菌検査	糞便	22	1	4	1	3	3		2			1	1	6	
	咽頭ぬぐい液	0													
	髄液	2		2											
	尿	0													
	その他	0													
	小計	24	1	6	1	3	3	0	2	0	0	1	1	6	
マイコプラズマ検査		0													
計		78	5	16	12	11	7	0	5	2	4	2	2	12	

表2-4-3 三類感染症病原体検査 取扱件数及び項目数

		計	令和4年								令和5年				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
検体数		128	5	3	16	16	18	4	12	16	6	1	1	30	
検査項目	赤痢菌	5	3			1					1				
	コレラ菌	1	1												
	チフス菌	1	1												
	パラチフスA菌	1	1												
	EHEC	123	5	16		16	17	4	12	16	6	1		30	
	計	131	5	6	16	16	18	4	12	16	6	1	1	30	

表2-4-4 感染性胃腸炎集団発生事例 検査取扱件数及び結果

月	施設		施設数	検体数		陽性数	検出
5	西京区	(小学校)	1	患者便	11	10	ノロ(GⅠ)
6	左京区	(保育園)	1	患者便	4	4	サポウイルス
	西京区	(高齢者)	1	患者便	3	2	ノロ(GⅡ)
7	中京区	(保育園)	1	患者便	3	1	サポウイルス
	伏見区	(保育園)	1	患者便	3	3	ノロ(GⅡ)
11	北区	(保育園)	1	患者便	2	2	ノロ(GⅡ)
	上京区	(保育園)	1	患者便	4	4	ノロ(GⅡ)
	左京区	(保育園)	1	患者便	5	4	ノロ(GⅡ)
			1		4	4	ノロ(GⅡ)
12	北区	(保育園)	1	患者便	3	2	ノロ(GⅡ)
	上京区	(保育園)	1	患者便	4	3	ノロ(GⅡ)
	中京区	(保育園)	1	患者便	3	3	ノロ(GⅡ)
			1	患者便	2	1	ノロ(GⅡ)
	右京区	(保育園)	1	患者便	5	3	ノロ(GⅡ)
	西京区	(保育園)	1	患者便	5	5	ノロ(GⅡ)
1	北区	(保育園)	1	患者便	4	3	ノロ(GⅡ)
	中京区	(高齢者)	1	患者便	6	6	ノロ(GⅡ)
		(保育園)	1	患者便	3	3	ノロ(GⅡ)
	山科区	(高齢者)	1	患者便	2	2	ノロ(GⅡ)
	右京区	(保育園)	1	患者便	4	4	ノロ(GⅡ)
	西京区	(保育園)	1	患者便	4	4	ノロ(GⅡ)
2	伏見区	(高齢者)	1	患者便	5	5	ノロ(GⅡ)
	北区	(保育園)	1	患者便	4	4	ノロ(GⅡ)
	上京区	(保育園)	1	患者便	2	1	ノロ(GⅡ)
	左京区	(保育園)	1	患者便	3	4	ノロ(GⅡ)
			1	患者便	3	2	ノロ(GⅡ)
	中京区	(保育園)	1	患者便	1	1	ノロ(GⅡ)
	山科区	(高齢者)	2	患者便	6	3	ノロ(GⅡ)
					3	ノロ(GⅡ)	
	山科区	(保育園)	1	患者便	2	2	ノロ(GⅡ)
	右京区	(高齢者)	1	患者便	4	4	ノロ(GⅡ)
		(保育園)	1	患者便	1	1	ノロ(GⅡ)
	西京区	(保育園)	1	患者便	5	5	ノロ(GⅡ)
		(小学校)	1	患者便	12	10	ノロ(GⅡ)
伏見区	(保育園)	1	患者便	3	3	サポウイルス	
3	左京区	(高齢者)	1	患者便	3	2	ノロ(GⅡ)
	東山区	(幼稚園)	1	患者便	5	5	ノロ(GⅡ)
	山科区	(保育園)	1	患者便	2	2	ノロ(GⅡ)
	右京区	(保育園)	1	患者便	4	3	ノロ(GⅠ)
	伏見区	(保育園)	1	患者便	1	1	サポウイルス
(保育園)		1	患者便	4	1	ノロ(GⅡ)	
合計			41		154	135	

表2-4-5 HIV抗体検査取扱件数

	計	令和4年								令和5年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	360	17	30	25	18	43	38	43	56	57	33		
女性	199	11	19	9	8	22	18	30	36	22	24		
不明	0												
計	559	28	49	34	26	65	56	73	92	79	57	0	0

表2-4-6 梅毒抗体検査取扱件数

検査項目	計	令和4年										令和5年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
TPPA法	1,500	108	127	130	129	152	158	179	190	174	153			
RPR法	55	6	6	4	4	4	9	5	6	7	4			
計	1,555	114	133	134	133	156	167	184	196	181	157	0	0	

5 衛生動物に関する検査、相談処理及び調査鑑別〔微生物部門〕

令和4年度の衛生動物検査及び衛生相談の件数は、表2-5-1のとおりである。また、衛生動物に関する調査研究のために鑑別した個体数は、表2-5-2のとおりである。

表2-5-1 衛生動物検査及び衛生相談の件数

	計	令和4年									令和5年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
衛生動物検査	20	3	1	2	3	4	3	1	1	0	1	0	1	
衛生相談	10	0	1	0	2	1	1	1	1	0	2	0	1	
計	30	3	2	2	5	5	4	2	2	0	3	0	2	

表2-5-2 衛生動物調査鑑別個体数

項目	個体数
人おとり法による蚊成虫調査	224
旗ずり法によるマダニ生息調査	282
計	506

6 食肉衛生に関する試験検査〔食肉検査部門〕

令和4年度の食肉衛生に関する試験検査の実施状況は、表2-6-1～表2-6-9のとおりである。

表2-6-1 食肉衛生に関する試験検査の取扱件数（と畜検査頭数）

畜種	件数	令和4年												令和5年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
牛 肉牛	12,727	1,209	964	902	1,227	878	938	1,063	1,441	1,224	922	876	1,083			
	(75)	(3)	(4)	(12)	(7)	(2)	(6)	(7)	(7)	(2)	(4)	(6)	(15)			
乳牛	33	0	1	0	4	0	2	3	7	3	6	4	3			
	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(2)	(0)	(0)			
計	12,760	1,209	965	902	1,231	878	940	1,066	1,448	1,227	928	880	1,086			
	(78)	(3)	(4)	(12)	(7)	(2)	(6)	(7)	(8)	(2)	(6)	(6)	(15)			
子牛	6			2					1				3			
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
馬	0															
豚	19,017	1,678	1,438	1,517	1,448	1,467	1,483	1,641	1,803	1,694	1,689	1,612	1,547			
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
めん羊	0															
山羊	0															
計	31,783	2,887	2,403	2,421	2,679	2,345	2,423	2,707	3,252	2,921	2,617	2,492	2,636			
	(78)	(3)	(4)	(12)	(7)	(2)	(6)	(7)	(8)	(2)	(6)	(6)	(15)			

下段()内の数字は病切迫畜の件数(再掲)

表2-6-2 畜種別と畜処分件数（処分実頭数）

畜種	解体禁止	全部廃棄	一部廃棄
牛		23	10,800
子牛			
馬			
豚		11	16,015
めん羊			
山羊			
合計	0	34	26,815

表2-6-3 病名別全部廃棄頭数

牛		豚	
疾病名	頭数	疾病名	頭数
敗血症	9	サルモネラ症	3
牛伝染性リンパ腫	6	豚丹毒	3
尿毒症	5	敗血症	2
高度の黄疸	2	膿毒症	2
高度の水腫	1	腫瘍	1
計	23	計	11

表2-6-4 牛 部位別主要疾病廃棄件数

	発生頭数	と畜頭数に占める割合(%)
総頭数	12,766	
心臓疾患	666	5.2
心外膜炎	119	0.9
脾臓疾患	52	0.4
肺臓疾患	1,879	14.7
肺胸膜炎	713	5.6
肺炎	606	4.7
吸入肺	217	1.7
肺点状出血	176	1.4
肺気腫	61	0.5
肺膿瘍	96	0.8
横隔膜疾患	1,817	14.2
横隔膜膿瘍	369	2.9
横隔膜筋炎	495	3.9
横隔膜水腫	418	3.3
横隔膜炎	418	3.3
横隔膜出血(スポット)	70	0.5
肝臓疾患	6,628	51.9
富脈斑肝	3,304	25.9
鋸屑肝	747	5.9
肝包膜炎	857	6.7
肝膿瘍	444	3.5
肝炎	287	2.2
肝小葉間静脈炎	245	1.9
胆管炎	178	1.4
好酸球性巣状性肝炎	308	2.4
褪色肝	183	1.4
胃疾患	4,532	35.5
胃炎	2,733	21.4
胃潰瘍	1,260	9.9
胃膿瘍	111	0.9
創傷性胃炎	123	1.0
胃出血(スポット)	302	2.4
腸疾患	2,260	17.7
腸炎	923	7.2
腸黒色症	355	2.8
消化器脂肪壊死	823	6.4
腎臓疾患	1,545	12.1
腎炎	570	4.5
腎周囲脂肪壊死	345	2.7
のう胞腎	245	1.9
膀胱疾患	191	1.5
膀胱炎	83	0.7
膀胱結石	85	0.7
子宮疾患	166	1.3
子宮内膜炎	121	0.9
乳房疾患	25	0.2
頭部疾患	466	3.7
筋・骨格疾患	8,808	69.0
血液浸潤	4,685	36.7
膠様浸潤	1,192	9.3
血腫	748	5.9
筋肉炎	662	5.2
骨折	265	2.1
石灰沈着	332	2.6
関節炎	192	1.5
筋肉膿瘍	70	0.5
胸膜炎	215	1.7

表2-6-5 豚 部位別主要疾病廃棄件数

	発生頭数	と畜頭数に占める割合(%)
総頭数	19,017	
心臓疾患	399	2.1
心外膜炎	308	1.6
心内膜炎	42	0.2
肺臓疾患	15,970	84.0
肺炎(MPS)	9,125	48.0
胸膜炎	3,421	18.0
肺炎(APP)	2,566	13.5
肺膿瘍	570	3.0
肝臓疾患	1,871	9.8
肝線維症	899	4.7
白斑肝	314	1.7
肝炎	351	1.8
肝包膜炎	158	0.8
褪色肝	82	0.4
腸疾患	695	3.7
腸抗酸菌症	202	1.1
腸炎	454	2.4
腎臓疾患	2,700	14.2
のう胞腎	1,942	10.2
腎炎	497	2.6
筋・骨格疾患	4,273	22.5
血液浸潤	2,327	12.2
胸膜炎	767	4.0
筋肉炎	274	1.4
筋肉膿瘍	242	1.3
血腫	136	0.7
膠様浸潤	201	1.1
骨折	10	0.1

表2-6-6 牛枝肉せり売り前再検査による異常疾病発見件数

疾病名	件数
筋肉炎	1,127
スポット	139
血液浸潤	113
水腫	46
その他	191
計	1,616

表2-6-7 保留理由別頭数及び保留後全部廃棄頭数

保留理由	総計		牛(子牛を含む)		豚	
	保留頭数	廃棄頭数	保留頭数	廃棄頭数	保留頭数	廃棄頭数
抗菌性物質残留	68	0	68	0	0	0
豚丹毒	15	3	0	0	15	3
敗血症	14	11	11	9	3	2
牛伝染性リンパ腫	6	6	6	6	0	0
尿毒症	6	5	6	5	0	0
全身性腫瘍	2	1	0	0	2	1
高度の水腫	1	1	1	1	0	0
サルモネラ症	7	3	0	0	7	3
高度の黄疸	4	2	4	2	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
計	123	32	96	23	27	9

表2-6-8 と畜検査における精密検査実施状況

検査目的			検査頭数	検体件数	検査項目数	検査項目							
						細菌検査	病理検査	理化学検査	血液検査	抗菌性物質	PCR	免疫生化学検査	その他
と畜検査	牛	BSEスクリーニング検査	3	3	3								3
		抗菌性物質残留	96	384	1,536					1,536			
		牛伝染性リンパ腫	6	106	134	0	106	2	20				6
		腫瘍(白血病を除く)	0	0	0								
		敗血症	11	71	167	120	11	20	16				
		黄疸	4	9	39	10	2	21	6				
		水腫	1	2	12		3	6	3				
		尿毒症	6	26	41		2	24	15				
	豚	抗菌性物質残留	27	104	432					432			
		豚丹毒	15	44	142	132					10		
		敗血症	3	18	45	42	1				2		
		豚抗酸菌症	0	0	0								
		腫瘍(白血病を除く)	2	19	57			57					
		サルモネラ症	7	35	35	35							
	その他(病名判定を含む)		73	82	292		23	104	165				
	合計		254	903	2,935	339	205	177	225	1,968	12	9	0

表2-6-9 調査研究及びその他の検査実施状況

検査目的		検査 件 数	検査 項 目 数	検査項目							
				細菌 検査	病理 検査	理 化 学 検査	血 液 検査	抗 菌 性 物質	P C R	免疫 生 化 学 検査	そ の 他
調査 研 究	牛枝肉の細菌汚染調査	60	120	120							
	豚枝肉の細菌汚染調査	60	120	120							
	牛におけるRhodococcus equi感染症の一症例	11	33	22							11
	小計	120	240	240	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	牛枝肉のサルモネラ検査	140	280	140							140
	牛枝肉のSTEC検査	25	50	25					25		
	小計	165	330	165	0	0	0	0	25	0	140
計		285	570	405	0	0	0	0	25	0	140

7 環境に関する試験検査〔環境部門、微生物部門〕

令和4年度の環境に関する試験検査の実施状況は、表2-7-1から表2-7-12のとおりである。

また、環境省からの委託を受けて、化学物質環境実態調査として、京都市衛生環境研究所屋上にて大気試料（1件）の採取及び一般的状況測定を行った。同調査で桂川宮前橋下流において、水質（1件）及び底質（3件）の試料採取及び一般的状況測定を行った。

平成15年から毎年、環境省委託酸性雨調査（陸水モニタリング）を沢の池で年4回水質調査及び検査を実施し、結果を報告している。

表2-7-1 環境に関する試験検査など取扱件数

		総数		令和4年												令和5年		
		件数	項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
大気	降下ばいじん	20	60	1	3	1	1	3	1	1	3	1	1	3	1			
	悪臭物質	29	202			12			5	12								
	酸性雨	52	104	5	5	4	4	5	4	5	4	4	5	4	3			
	アスベスト	12	12									12						
	重油中硫黄分																	
	工場ばい煙など	12	24			3	9											
	有害大気汚染物質	49	639	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4			
	その他	1	1									1						
小計		175	1,042	10	12	24	19	12	14	22	12	21	10	11	8			
水質 (理化学検査)	工場事業場排水	28	677	3	3	5	6		5	6								
	ゴルフ場排水	8	96							4			4					
	浄化槽放流水																	
	河川水	13	238						3		7		3					
	地下水	82	1330				29	4		12		29	4	4				
	河川底質・土壌	20	255					4	3		8	5						
	池沼水および底質	48	820	12				12		12			12					
	環境研排水	9	200		2		1		2		1		2		1			
	その他(河川事故検体)																	
	精度管理	3	25	1				1		1								
水質 (細菌検査)	依頼検査																	
	工場事業場排水	18	18		1	5	2		5	5								
	浄化槽放流水	0																
	河川水	6	6						3				3					
小計		235	3,665	16	6	10	38	21	21	40	16	34	28	4	1			
騒音 振動	鉄道騒音																	
	鉄道振動																	
	低周波音																	
	苦情処理 測定機器などの保守																	
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計		410	4,707	26	18	34	57	33	35	62	28	55	38	15	9			

注) 窒素酸化物、浮遊粒子状物質等に係る大気汚染常時監視の件数は含まない。

表2-7-2 降下ばいじん量の経年変化(年平均)

単位:トン/(km²・月)

年度	平成														
	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
総量	3.1	2.4	1.8	1.8	2.1	1.6	2.1	1.7	1.6	1.1	1.4	2.2	1.7	1.3	1.6
溶解性成分量	2.0	1.4	1.0	1.1	1.0	0.7	1.3	0.9	0.9	0.7	0.8	1.3	1.0	0.7	0.9
不溶解性成分量	1.1	1.0	0.8	0.7	1.1	0.9	0.8	0.8	0.7	0.4	0.6	0.9	0.7	0.6	0.7

年度	平成														
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
総量	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.3	1.2	1.4	1.6	欠測	1.0	1.1	1.3	1.4
溶解性成分量	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	0.7	欠測	0.5	0.5	0.7	0.7
不溶解性成分量	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.8	0.9	欠測	0.5	0.6	0.7	0.7

年度	令和			
	元	2	3	4
総量	1.4	1.7	1.5	1.7
溶解性成分量	0.8	1.2	0.7	0.8
不溶解性成分量	0.6	0.5	0.8	0.9

注1) 平成元年度より平成30年度までの測定場所は旧衛生環境研究所(中京区)屋上

注2) 令和元年度以降の測定場所は研究所の移転及び京都府保健環境研究所の解体作業のため伏見区総合庁舎屋上

注3) 令和4年度以降の測定場所は移転後の衛生環境研究所(伏見区)屋上

表2-7-3-1 悪臭測定結果濃度分布表

物質名	敷地境界基準 (ppm)	基準超過地点数	基準以下地点数	延地点数	10～ 1.1 (ppm)	1～ 0.51 (ppm)	0.5～ 0.11 (ppm)	0.1～ 0.051 (ppm)	0.05～ 0.011 (ppm)	0.010 ～ 0.0051 (ppm)	0.005 ～ 0.0011 (ppm)	0.0010 ～ 検出限界 (ppm)	検出 限界 未満	検出限界値 (ppm) 参考
アンモニア	1	0	24	24			6	6	1				11	0.05
メチルメルカプタン	0.002	0	15	15									15	0.0002
硫化水素	0.02	0	15	15									15	0.002
硫化メチル	0.01	0	15	15									15	0.0008
二硫化メチル	0.009	0	15	15									15	0.0009
トリメチルアミン	0.005	—	—	—									—	0.0005
アセトアルデヒド	0.05	0	9	9							9			0.0005
プロピオンアルデヒド	0.05	0	9	9									9	0.0005
ノルマルブチルアルデヒド	0.009	0	9	9									9	0.0005
イソブチルアルデヒド	0.02	0	9	9									9	0.0005
ノルマルバレールアルデヒド	0.009	0	9	9									9	0.0005
イソバレールアルデヒド	0.003	0	9	9									9	0.0005
イソブタノール	0.9	0	9	9									9	0.05
酢酸エチル	3	0	9	9									9	0.05
メチルイソブチルケトン	1	0	9	9									9	0.05
トルエン	10	0	9	9									9	0.05
スチレン	0.4	0	9	9									9	0.05
キシレン	1	0	9	9				1					8	0.05
プロピオン酸	0.03	—	—	—									—	0.001
ノルマル酪酸	0.001	—	—	—									—	0.0002
ノルマル吉草酸	0.0009	—	—	—									—	0.0002
イソ吉草酸	0.001	—	—	—									—	0.0002

注) 令和4年度はトリメチルアミン、プロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸、イソ吉草酸の測定は実施しなかった。

表2-7-3-2 京都府環境を守り育てる条例に基づく大気中有害物質調査結果

物質名	敷地境界規制基準 (ppm)	排出口規制基準 (ppm)	敷地境界調査地点数	排出口調査地点数	基準超過地点数	基準以下地点数	延地点数	100 (ppm) 10 以上 (ppm)	100 ～ 10 (ppm)	10 ～ 1 (ppm)	1 ～ 0.1 (ppm)	0.1 ～ 検出限界 (ppm)	検出 限界 未満	検出限界値 (ppm) 参考
メチルエチルケトン	3	300	2	1	0	3	3			1			2	0.05
トルエン	2	200	6	3	0	9	9			2			7	0.05
キシレン	3	300	8	4	0	12	12	1	1	3	1	6		0.05

表2-7-4 降水のpH値の経年変化

年度	平成														
	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
加重平均値	－	4.6	4.6	4.5	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7
最 高 値	6.1	6.0	5.8	5.6	6.4	6.8	6.0	7.1	6.1	6.7	6.8	6.1	6.8	6.3	6.9
最 低 値	3.5	3.8	3.4	3.6	3.7	3.6	3.8	3.6	3.8	3.9	3.6	3.8	3.5	3.7	3.8

年度	平成														
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
加重平均値	4.7	4.5	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	5.0	4.9	5.0	4.9
最 高 値	6.3	6.0	6.6	6.9	6.1	6.1	6.8	5.8	6.4	6.3	5.9	5.7	6.0	6.2	5.9
最 低 値	3.7	3.8	3.6	3.5	3.7	3.7	4.0	4.1	3.8	4.0	3.9	4.2	4.2	4.3	4.2

年度	令和			
	元	2	3	4
加重平均値	5.0	5.4	5.5	5.7
最 高 値	6.6	6.5	7.1	7.7
最 低 値	4.1	4.4	4.5	4.2

注1) 平成元年より令和元年10月15日までの測定場所は旧衛生環境研究所(中京区)屋上

注2) 令和元年10月28日以降の測定場所は新研究所(伏見区)屋上(研究所の移転のため)

表2-7-5 大気中アスベスト濃度の経年変化

単位:f(繊維数)/L

測定場所	平成元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
市役所局	1.38	0.83	0.73	0.28	0.62	0.23	0.37	0.48	0.30
	(0.98～1.62)	(0.60～1.15)	(0.55～1.11)	(0.17～0.43)	(0.38～0.98)	(0.09～0.47)	(0.15～0.51)	(0.36～0.63)	(0.19～0.56)
壬生局	1.22	0.76	0.54	0.24	0.39	0.27	0.45	0.30	0.22
	(0.72～1.91)	(0.17～1.49)	(0.43～0.64)	(0.09～0.77)	(0.21～0.85)	(0.17～0.43)	(0.26～0.68)	(0.12～0.71)	(0.15～0.30)
測定場所	平成10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
市役所局	0.28	0.06	0.38	0.42	0.35	0.48	0.68	0.53	0.35
	(0.20～0.40)	(0.00～0.09)	(0.22～0.52)	(0.33～0.54)	(0.30～0.49)	(0.23～0.73)	(0.61～0.74)	(0.44～0.89)	(0.24～0.55)
壬生局	0.42	0.06	0.14	0.40	0.35	0.77	0.87	0.61	0.41
	(0.20～0.43)	(0.00～0.13)	(0.08～0.32)	(0.28～0.52)	(0.18～0.59)	(0.55～1.0)	(0.51～1.3)	(0.32～0.74)	(0.31～0.49)
測定場所	平成19年度	20年度	21年度	22年度※	23年度※	24年度※	25年度※	平成26年度※	27年度※
市役所局	0.23	0.13	0.071	0.22	0.23	0.25	0.20	0.10	0.15
	(0.17～0.39)	(0.057～0.22)	(0.057～0.11)	(0.11～0.45)	(0.11～0.68)	(0.06～0.68)	(0.054～0.56)	(0.056～0.39)	(0.056～0.39)
壬生局	0.26	0.079	0.076	0.23	0.25	0.18	0.29	0.11	0.12
	(0.17～0.39)	(0.057～0.22)	(0.057～0.17)	(0.11～0.39)	(0.11～0.45)	(0.056～0.51)	(0.11～0.51)	(0.056～0.22)	(0.056～0.34)
測定場所	28年度※	29年度※	30年度※	令和元年度※	2年度※	3年度※	4年度※		
市役所局	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測		
壬生局	0.24	0.19	0.24						
	(0.11～0.51)	(0.11～0.42)	(0.14～0.39)						
伏見局				0.27	0.22	0.30	0.37		
				(0.056～0.51)	(0.11～0.51)	(0.22～0.53)	(0.28～0.51)		
大岩局	0.41	0.24	0.30	0.54	0.31	0.28	0.19		
	(0.28～0.56)	(0.17～0.34)	(0.17～0.45)	(0.45～0.68)	(0.22～0.45)	(0.17～0.45)	(0.11～0.45)		

注) 上段:幾何平均 下段:濃度範囲

※平成22年度以降は総繊維数濃度を示す。

表2-7-6-1 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

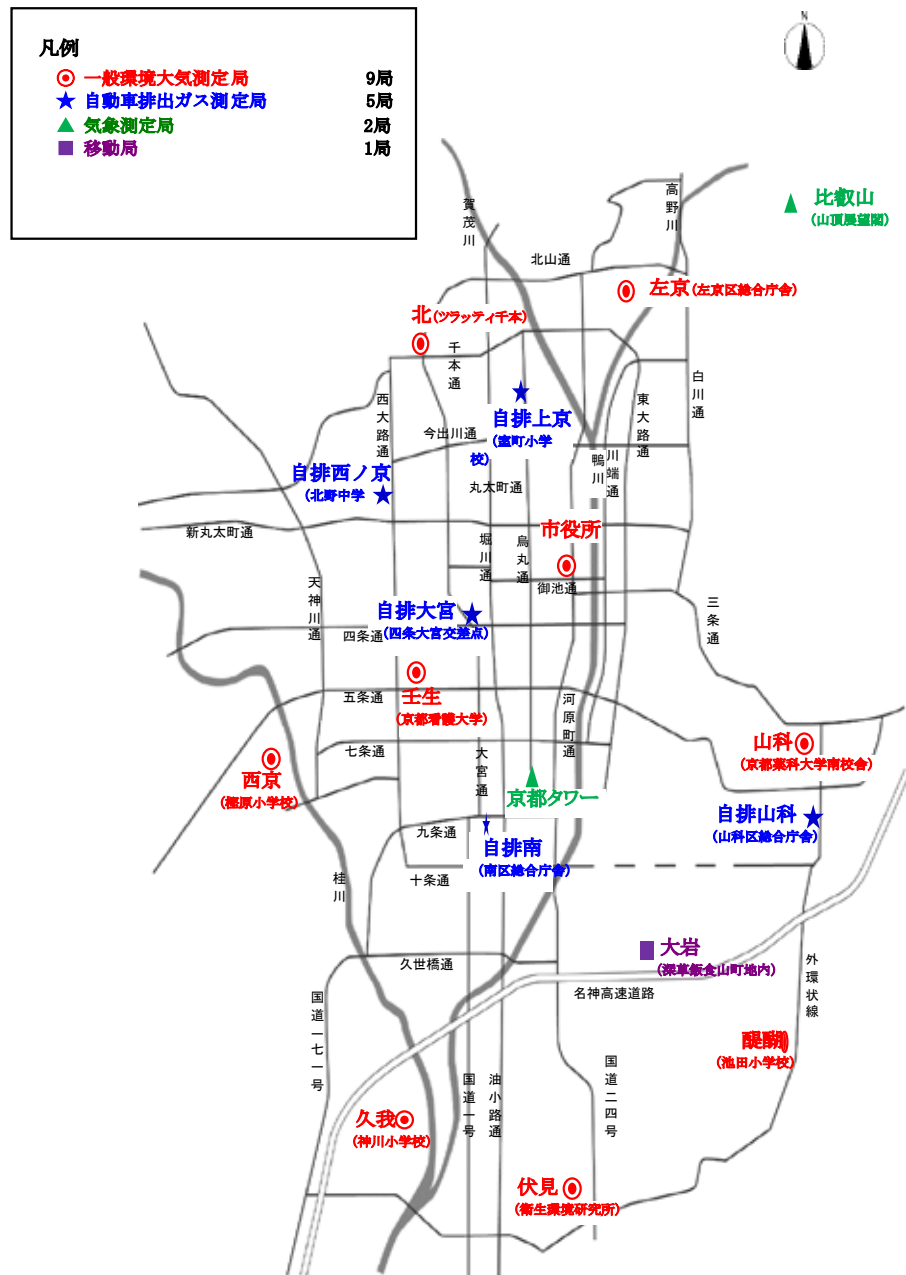
(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)					
	左京区総合庁舎 (一般環境)	南部まち美化事務所 (固定発生源周辺)	自排大宮局 (沿道)	自排山科局 (沿道)	環境基準
アクリロニトリル	0.011 (0.0012~0.025)	0.018 (0.0012~0.045)	-	-	-
塩化ビニルモノマー	0.0093 (0.0006~0.047)	0.012 (0.0006~0.056)	-	-	-
塩化メチル	1.2 (0.99~1.4)	1.2 (0.97~1.4)	-	-	-
クロロホルム	0.51 (0.23~1.1)	0.38 (0.19~1.3)	-	-	-
1,2-ジクロロエタン	0.12 (0.04~0.22)	0.12 (0.042~0.23)	-	-	-
ジクロロメタン	1.3 (0.84~1.8)	1.5 (0.74~3.7)	-	-	150
テトラクロロエチレン	0.085 (0.027~0.21)	0.61 (0.11~1.3)	-	-	200
トリクロロエチレン	0.099 (0.026~0.15)	1.1 (0.073~2.4)	-	-	130
1,3-ブタジエン	0.033 (0.012~0.063)	0.060 (0.019~0.18)	0.19 (0.071~0.58)	0.077 (0.040~0.16)	-
ベンゼン	0.43 (0.099~0.69)	0.62 (0.18~1.2)	0.93 (0.43~1.8)	0.67 (0.29~1.0)	3
トルエン	4.8 (0.83~17)	8.7 (4.0~22)	6.0 (3.9~9.3)	4.7 (2.4~9.0)	-
ベンゾ[a]ピレン	0.046 (0.008~0.17)	-	0.10 (0.040~0.23)	0.061 (0.023~0.15)	-
酸化エチレン	0.068 (0.03~0.16)	-	-	-	-
アセトアルデヒド	2.4 (0.99~4.9)	-	3.1 (1.9~7.1)	2.8 (1.3~8.6)	-
ホルムアルデヒド	4.0 (2.2~8.5)	-	3.8 (2.5~8.3)	3.4 (1.7~6.9)	-
ニッケル化合物	2.4 (0.55~5.4)	-	-	-	-
ヒ素及びその化合物	0.70 (0.03~2.0)	-	-	-	-
ベリリウム及びその化合物	0.0042 (0.00012~0.033)	-	-	-	-
マンガン及びその化合物	7.8 (0.35~27)	-	-	-	-
クロム及びその化合物	2.2 (0.65~5.7)	-	-	-	-
六価クロム化合物	0.035 (0.0075~0.084)	-	-	-	-
水銀及びその化合物	1.5 (1.1~2.2)	-	-	-	-
キシレン	0.70 (0.34~1.3)	2.3 (0.97~6.3)	2.0 (1.3~3.2)	1.6 (0.77~3.2)	-
フロン11	1.4 (1.3~1.5)	-	-	-	-
フロン12	2.7 (2.5~2.9)	-	-	-	-
フロン113	0.55 (0.51~0.61)	-	-	-	-

注1) 上段:年平均値 下段:(最小値~最大値)

注2) ベンゾ[a]ピレン、ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物、ベリリウム及びその化合物、マンガン及びその化合物
クロム及びその化合物、六価クロム化合物、水銀及びその化合物の単位は ng/m^3

表2-7-6-2 大岩街道周辺地域環境整備事業に関連する検査件数

有害大気汚染物質		降下ばいじん		
物質名	検査件数	調査月	調査地点数	検査件数
アクリロニトリル	1	5月	2	2
塩化ビニルモノマー	1	8月	2	2
塩化メチル	1	11月	2	2
クロロホルム	1	2月	2	2
1,2-ジクロロエタン	1	合計		8
ジクロロメタン	1	悪臭物質		
テトラクロロエチレン	1			
トリクロロエチレン	1	物質名	調査地点数	検査件数
1,3-ブタジエン	1	メタン	5	5
ベンゼン	1	硫化水素	5	5
アセトアルデヒド	1	合計		10
水銀及びその化合物	1	アスベスト		
ニッケル化合物	1			
ヒ素及びその化合物	1	物質名	調査地点数	検査件数
マンガン及びその化合物	1	アスベスト	2	6
合計	15	合計		6



測定局所在地

大 気 局	市役所	中京区寺町御池上る上本能寺前町488 京都市役所 4階・屋上	自 排 局	南	南区西九条南田町1の3 南区総合庁舎 前庭
	壬生	中京区壬生東高田町1の21 京都看護大学 校庭		大宮	中京区錦大宮町116 四条大宮交差点北西側
	伏見	伏見区村上町395 京都市衛生環境研究所 3階室内		山科	山科区柳辻池尻町14の2 山科区総合庁舎 前庭
	山科	山科区御陵四丁野町1 京都薬科大学 南校舎校庭		上京	京都市上京区室町通上立売上る室町頭町261 市立室町小学校 校庭
	左京	左京区松ヶ崎堂ノ上町7-2 左京区総合庁舎 2階室内		西ノ京	中京区西ノ京中保町1の4 市立北野中学校 校庭
	西京	西京区榎原三宅町24 市立榎原小学校 校庭	気 象 局	比叡山	左京区修学院牛ヶ額3 比叡山頂展望閣内
	久我	伏見区久我東町60の2 市立神川小学校 校庭		京都 タワー	下京区烏丸通七条下る東塩小路町721の1 京都タワー 展望室内
	北	北区紫野花ノ坊町23の1 ツラッティ千本 2階室内		移動大岩局	伏見区深草飯食山町地内
	醍醐	伏見区醍醐鍵尾町17 市立池田小学校 校庭			

図2-7-1 大気汚染常時監視測定局配置図

(令和5年3月31日現在)

表2-7-7 大気常時監視測定機整備状況

測定局	項目	SO ₂	SPM	NOx	Ox	CO	PM2.5	HC	日射量	温湿度	風向風速
		4台	14台	15台	9台	3台	12台	4台	1台	3台	10台
大気局	市役所		○	○	○		○				○
	壬生	○	○	○	○		○				○
	伏見	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	山科	○	○	○	○		○				
	左京		○	○	○						○
	西京	○	○	○	○		○				○
	久我		○	○	○						
	北			○	○						○
	醍醐		○	○	○		○	○			○
自排局	南		○	○		○	○	○			
	大宮		○	○		○	○				
	山科		○	○		○	○	○			
	上京		○	○			○				
	西ノ京		○	○			○				
気象局	比叡山									○ 温度のみ	○
	京都タワー									○ 温度のみ	○
移動局	大岩		○	○			○				○

表2-7-8 大気常時監視測定結果

(令和4年度)

種別	測定局名	二酸化硫黄 (SO ₂)		二酸化窒素 (NO ₂)		浮遊粒子状物質 (SPM)		微小粒子状物質 (PM2.5)		一酸化炭素 (CO)		光化学オキシダント (O ₃)	
		1日平均値 (2%除外値) (ppm)	達成 状況	1日平均値 (年間98%値) (ppm)	達成 状況	1日平均値 (2%除外値) (mg/m ³)	達成 状況	1年平均値 (μg/m ³)	達成 状況	1日平均値 (2%除外値) (ppm)	達成 状況	1時間値 (最高値) (ppm)	達成 状況
大気局	市役所	—		0.018	○	0.025	○	8.3	○	—		0.096	×
	壬生	0.002	○	0.021	○	0.025	○	11.8	○	—		0.104	×
	伏見	0.002	○	0.025	○	0.028	○	9.2	○	—		0.111	×
	山科	0.001	○	0.023	○	0.03	○	9.7	○	—		0.104	×
	左京	—		0.019	○	0.022	○	—		—		0.099	×
	西京	0.001	○	0.021	○	0.029	○	10.1	○	—		0.106	×
	久我	—		0.025	○	0.029	○	—		—		0.106	×
	北	—		0.017	○	—		—		—		0.103	×
	醍醐	—		0.023	○	0.025	○	11.2	○	—		0.114	×
自排局	南	—		0.031	○	0.033	○	9.6	○	0.5	○	—	
	大宮	—		0.028	○	0.032	○	9.4	○	0.5	○	—	
	山科	—		0.028	○	0.028	○	8.8	○	0.4	○	—	
	上京	—		0.019	○	0.027	○	9	○	—		—	
	西ノ京	—		0.021	○	0.024	○	9.4	○	—		—	
環境基準	長期的評価	1日平均値 0.04ppm以下		1日平均値 0.04ppmから0.06ppm までのゾーン内 又はそれ以下		1日平均値 0.10mg/m ³ 以下		1年平均値 15μg/m ³ 以下		1日平均値 10ppm以下		長期的評価は 行わない。	
	短期的評価	1時間値 0.1ppm以下		短期的評価は 行わない。		1時間値 0.20mg/m ³ 以下		1日平均値 35μg/m ³ 以下		1時間値の 8時間平均値 20ppm以下		1時間値 0.06ppm以下	

注1 表中の一印は、測定を実施していないことを示す。

注2 達成状況欄は長期的評価による達成＝○、未達成＝×を示す。(0 xは短期的評価)

注3 SO₂、SPM、COは、環境基準を超える日が2日以上連続した場合にも未達成と評価する。

注4 表中の「n. d.」は、年間の有効測定日数に満たないためデータが無いことを示す。

表2-7-9 光化学スモッグ注意報発令状況

(令和4年度)

発令月日	発令時間 ～ 解除時間	
—	—	京都市内では発令がなかった。

表2-7-10 水質及び底質などに係る試験検査項目別取扱件数

行政以外からの依頼検査	精度管理・その他	衛 環 研 排 水 検 査	池 沼 水 質 底 質 調 査	土 壌 調 査 含 有 試 験	土 壌 調 査 溶 出 試 験	岡 田 山 （ 底 質 ）	岡 田 山 （ 河 川 水 ）	岡 田 山 （ 地 下 水 ）	地 下 水 調 査	河 川 事 故	河 川 底 質	河 川 水 質 調 査 など	浄 化 槽 放 流 水 調 査	ゴ ル フ 場 排 水 農 薬 調 査	規 制 工 場 ・ 事 業 所 排 水 調 査	項 目 別 （ 計 ）
	2	9	72	4			6	9	73			1			28	204
	1	6					6					1			28	42
	1		48									1			28	78
	1	6				6						1			28	42
		9													28	37
	1	5		4	4	3	6	9	12		6				14	64
		5		4	4		6	8	12						12	51
	1	5		4	4	3	6	9	12		6				14	64
		5		4	4	3	6	8	12		6				14	62
		5		4	4		6	9	20						14	62
		5		4	4	3	6	8	12		6				15	63
									0							0
		9							37						28	37
		9							30						21	30
	1	9				3	6		46		6				21	46
		9							30						21	30
		9							30						21	30
		9				3			39		6				21	39
		2		4	4		6	8	46						10	46
		2		4	4		6	8	46						10	46
		9							30						21	30
		2		4	4		6	8	50						14	30
		5					6	8	94						14	94
		5					6	8	57						14	94
		5					6	8	57						14	94
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8	50						14	87
		5					6	8								

表2-7-11 ゴルフ場排水などの農薬調査検査項目

時期	殺虫剤		殺菌剤		除草剤他		その他	
	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期
	イミダクロプリド	クロチアニジン	アゾキシストロビン	アゾキシストロビン	キノクラミン(ACN)	s-メトラクロール		
	クロチアニジン	クロラントラニルプロール	イソプロチオラン	アメクトラジシ	イマゾスルフロ	オキサジクロメホン		
	ダイアジノン	ダイアジノン	シプロコナゾール	イソプロチオラン	オキサジクロメホン	カフェンストロール		
	チオジカルブ	チアメキサム	チウラム	シプロコナゾール	カフェンストロール	クミルロン		
		チオジカルブ	フルキサピロキサド	チウラム	シクロスルファムロン	シクロスルファムロン		
			フルトラニル	テトラコナゾール	ピラゾスルフロエチル	ピラゾスルフロエチル		
			ペンシクロン	テブコナゾール	プロピザミド			
			マンデストロビン	フルキサピロキサド				
			メコナゾール	フルジオキシニル				
				フルトラニル				
				プロピコナゾール				
				ヘキサコナゾール				
				ペンシクロン				
				ペンチオピラド				
				ボスカリド				
				マンデストロビン				
				メタラキシル				
				メコナゾール				
合計	4	5	9	18	7	6	0	0
	春期: 20 項目 秋季: 29 項目 年間のべ: 49 項目							

表2-7-12 浄化槽放流水等の大腸菌群検査の結果

	検体数	基準超過検体数	基準超過検体の割合(%)
工場事業場等排水	18	0	0
浄化槽放流水	0	0	0
合計	18	0	0

8 試験検査の信頼性確保業務〔管理課〕

(1) 食品検査等における信頼性確保

食品衛生法に係る検査等の信頼性を確保するため、「京都市衛生環境研究所食品検査等業務管理要綱」を作成し、この要綱に基づき信頼性確保部門としてGLP委員会を設置し、試験検査業務の内部点検及び外部精度管理調査等を実施している。

ア GLP 委員会について

「京都市衛生環境研究所 GLP 委員会設置要領」に基づき、委員の選出及び委員会を開催した。

(7) 委員の構成

- ・ 委員長（衛生環境研究所長）
- ・ 信頼性確保部門責任者（管理課課長補佐）
- ・ 検査部門責任者（環境部門担当課長）
- ・ 試験品採取・搬送区分責任者（医療衛生推進室医療衛生企画課食品安全担当課長）
- ・ 理化学的検査区分責任者（生活衛生部門担当課長）
- ・ 微生物学的検査区分責任者（微生物部門担当課長）
- ・ 動物を用いる検査区分責任者（生活衛生部門担当課長）
- ・ その他の委員（委員長が指名する者）

(i) 委員会の開催

令和 5 年 3 月に、委員会を開催し、令和 3 年度及び令和 4 年度の取組及び結果報告を行った。

イ 内部点検について

試験検査の信頼性の確保を図る目的で、試験検査業務の内部点検を実施している。

「内部点検実施手順書」に基づき、令和 5 年 2 月 8 日に生活衛生部門、令和 5 年 2 月 20 日に微生物部門に対して、立入調査を行った。

また、試験品採取・搬送の内部点検として令和 5 年 2 月 3 日に医療衛生センターに対して立入調査を行った。

ウ 外部精度管理調査について

試験検査データの信頼性を確保するため、一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所が実施する外部精度管理調査に参加している。

令和 4 年度は、理化学調査 5 項目、微生物学調査 7 項目の計 12 項目、食品表示関連精度管理として特定原材料検査（アレルギー物質を含む食品）2 項目に参加した。

(2) 病原体等検査における信頼性確保

平成 28 年度から、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づいて、感染症の患者の検体、又は当該感染症の病原体の検査を行う施設として、「京都市衛生環境研究所病原体等検査業務管理要領」を作成し、病原体等検査の信頼性確保のため内部点検を行っている。

(3) 輸出食肉検査における信頼性確保

令和 2 年度から、「京都市衛生環境研究所輸出食肉検査業務管理要領」に基づき、輸出に係ると畜検査の信頼性の確保を図るため内部点検等を行っている。令和 4 年 9 月 5 日に食肉検査部門に立ち入り検査を行った。